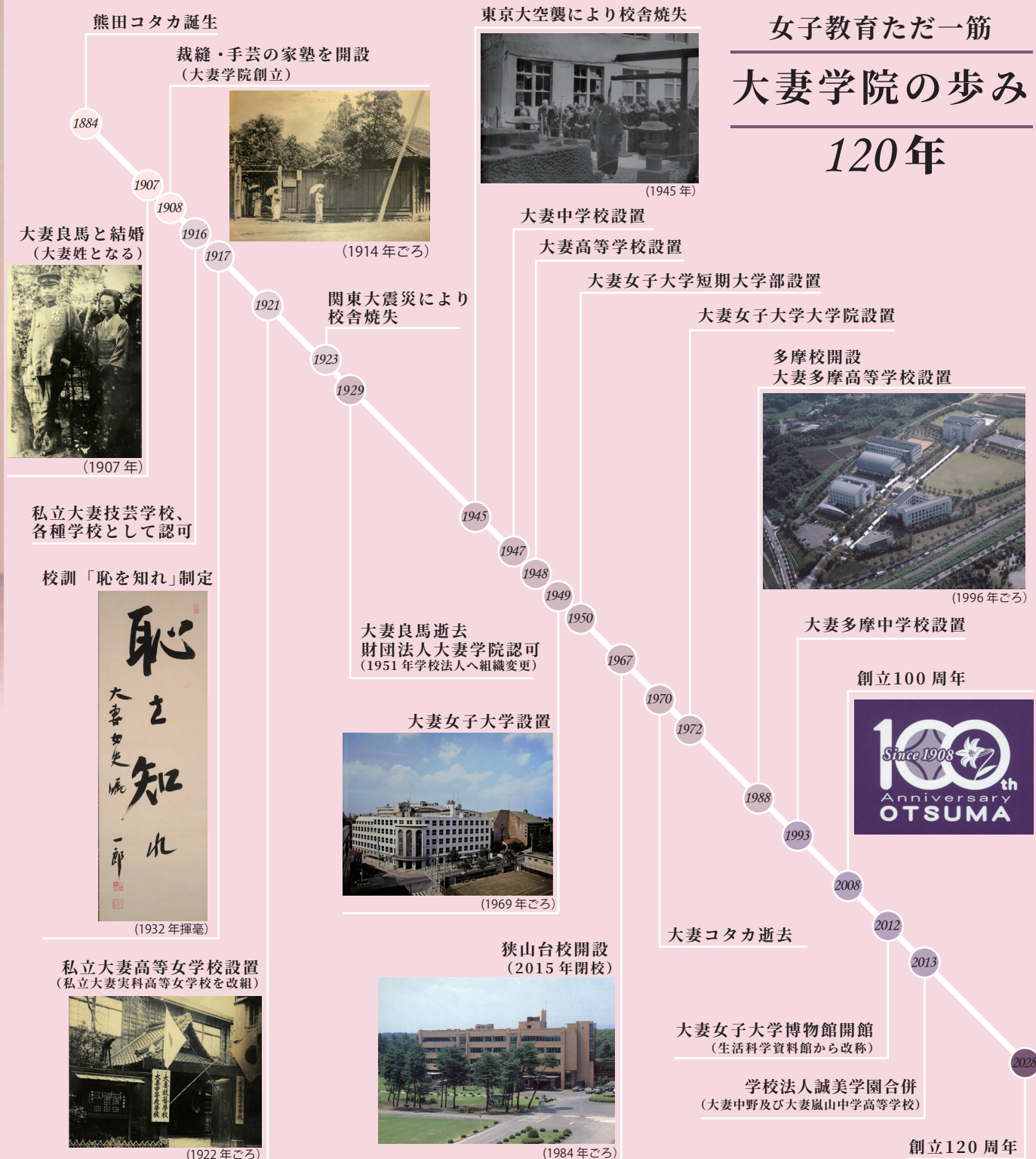


女子教育ただ一筋 大妻学院の歩み 120年



大妻コタカ

大妻学院の歴史は、明治41年(1908)に大妻コタカが裁縫・手芸の私塾を開いたことに始まります。コタカは、夫・良馬とともに私財をなげうち、学生の教育に心血を注ぎました。その後、数々の苦難の時期を乗り越え、現在の大妻学院は学生・生徒数1万人超の学校法人へと大きく発展を遂げました。

平成19年(2007)4月、大妻学院が建学以来収集してきたさまざまな資料を教育・研究に活用するべく、「大妻女子大学生生活科学資料館」が設立されました。そして平成23年(2011)2月に、東京都から博物館相当施設(令和5年〔2023〕4月より指定施設)の指定を受け、平成24年(2012)4月には館の名称を「大妻女子大学博物館」に改め、新たなスタートを切りました。

大妻女子大学博物館では大妻学院創立者の大妻コタカと、その夫で最大の支援者である大妻良馬の生涯、そして大妻学院に関する資料を、収集・調査研究・整理保存・展示公開しています。